

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
陣内敦			

講義概要	芸術学・西洋美術史についての講義と、海岸アートや陶芸体験、美術館企画展鑑賞や展覧会自主企画の演習活動を併せながら授業を進めていく。主観と客観を認識し、自らの感性を磨くことと感性教育について考察する力を培っていく。
授業計画	<p>1 オリエンテーション 「陣内敦絵画展」を鑑賞する 学習課題 予習：自分にとっての芸術のとらえ方を振り返る 復習：担当教員の芸術活動についてレポートする</p> <p>2 芸術家の生涯① 芸術家Aの伝記 読み語り 学習課題 予習：興味のある芸術家の伝記を探す 復習：この芸術家が目指したものについて考える</p> <p>3 芸術家の生涯② 芸術家Bの伝記 読み語り 学習課題 予習：興味のある芸術家の伝記を探す 復習：この芸術家が目指したものについて考える</p> <p>4 芸術家の生涯③ 芸術家Cの伝記 読み語り 学習課題 予習：興味のある芸術家の伝記を探す 復習：この芸術家が目指したものについて考える</p> <p>5 自然と芸術① 海岸アート体験 学習課題 予習：自分にとっての自然、自分にとっての芸術について考える 復習：自然と人間の関わりを感じる</p> <p>6 自然と芸術① 海岸アート体験 学習課題 予習：自然へ溶け込む感覚を確認する 復習：海岸アートの振り返りをおこなう</p> <p>7 展覧会见学① 展覧会の選択 学習課題 予習：鑑賞したい展覧会を検索する 復習：この展覧会で発表される芸術の内容について予備知識を得る</p> <p>8 展覧会见学② 展覧会鑑賞 学習課題 予習：展覧会で特にどこを注目すべきかを考える 復習：疑問点や興味が湧いた内容を学芸員や教員に質問する</p> <p>9 展覧会见学③ 展覧会鑑賞 学習課題 予習：自分なりの鑑賞の観点を持つ 復習：展覧会の内容についてレポートする</p> <p>10 美術史① 美術史ビデオ鑑賞 学習課題 予習：西洋美術史について既に関り得ている内容を整理する 復習：歴史が伝える内容を考える</p> <p>11 美術史② 美術史ビデオ鑑賞 学習課題 予習：歴史を学ぶ楽しさを感じる 復習：歴史が伝える内容を考える</p> <p>12 心と芸術① 陶芸体験 学習課題 予習：作りたい陶器を考える 復習：陶器の温かさを感じる</p> <p>13 心と芸術② 陶芸体験 学習課題 予習：人間の手と心の温かさについて考える 復習：心をこめる大切さを確認する</p> <p>14 心と芸術③ 陶芸体験 学習課題 予習：人間の無垢な表現を求めていく 復習：陶芸を通して心と芸術について考える</p> <p>15 自分にとっての芸術 レポート作成 学習課題 予習：自分にとっての芸術とのかかわり方について考える 復習：人生を豊かにするための芸術について考える</p>

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①芸術の領域と意義を考え、芸術と人間の関係を理解することができる ②世界の美術史を学び、芸術に関する見識を身につけることができる ③自然と人間のかかわりの中から、芸術をとらえることができる ④人間の手と心の温かさから、芸術をとらえることができる ⑤芸術鑑賞によって社会人としての感性を磨くことができる
教科書・参考書	テキスト：テーマごとに、必要な参考資料を提示。 参考書：『西洋美術史 東洋美術史 日本美術史』 美術出版社 『おはなし名画シリーズ』 博雅堂出版 他
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	レポート提出の期限を厳守し、学士としての学力水準を確認できる内容を求める。